

事業所における 自己評価結果（公表）

公表：令和 5 年 10 月 1 日

事業所名 コベルプラス宮原教室

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|---------|---|--|----|-----|---|---|
| 環境・体制整備 | ① | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | 4 | | 療育表を用いて、利用定員が適切になるようにしている。 | |
| | ② | 職員の配置数は適切である | 4 | | | |
| | ③ | 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている | 4 | | 各部屋に名前を付け、どこを利用するかすぐ分かるようにしている。 エスカレーター、エレベーターは無いが、階段に手すりは付いている。 | 建物に階段しかないため、足の不自由な方がいらっしまった場合は十分とは言えないが、付き添いや荷物を持つなどの配慮をしていく。 |
| | ④ | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている | 4 | | 毎日清掃し、清潔を心掛けている。 | 毎日掃除を行っているが、さらに細部まで確認する必要がある。 |
| 業務改善 | ⑤ | 業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している | 4 | | 定期的にミーティングを行っている。 | |
| | ⑥ | 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | 4 | | 実施して業務改善につなげている。 評価表に加え、フィードバック時やその他の時間で相談や意向の聞き取りを行っている。 | |
| | ⑦ | 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している | 4 | | | |
| | ⑧ | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | | 4 | | 第3者による外部評価は今のところ行っていないため、本部の判断に基づき必要があれば行う。 |

| | | | | | | |
|----------|---|--|---|--|-------------------------------|--|
| 適切な支援の提供 | ⑨ | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | 4 | | 教室内、本部、社外等、積極的に参加できる環境が整っている。 | |
| | ⑩ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している | 4 | | 定期的にアセスメントを行っている。 | |
| | ⑪ | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している | 4 | | 標準化されたツールを使用している。 | |
| | ⑫ | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている | 4 | | 設定されている。 | |

| | | | | | | |
|--|---|---|---|--|--|--------------------------------------|
| | ⑬ | 児童発達支援計画に沿った支援が行われている | 4 | | 支援計画を確認したうえで支援を行っている。 | |
| | ⑭ | 活動プログラムの立案をチームで行っている | 4 | | ミーティングを定期的に行っている。 | |
| | ⑮ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | 4 | | 児童が楽しめるよう工夫したプログラムで行っている。 | |
| | ⑯ | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している | 4 | | 希望により、集団活動を組み合わせている。 | |
| | ⑰ | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | 4 | | 毎朝ミーティングをしている。 レッスンの内容や職員の各役割を職員間で確認している。 | |
| | ⑱ | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | 4 | | 支援の内容を記録しているため、必要が生じた時に管理者に伝えている。定期的にミーティングと各児童のカンファレンスを行っている。 | 支援の内容や、気付いた点などに漏れが無いよう、さらに丁寧に共有していく。 |

| | | | | | | |
|--------------------------|---|---|---|---|---------------------------|--|
| | ⑱ | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | 4 | | 毎回記録を残している。 | |
| | ⑳ | 定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している | 4 | | 定期的に行っている。 | |
| 関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携 | ㉑ | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | 4 | | | |
| | ㉒ | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている | 4 | | | 保健センターや子育て支援センターに訪問等はしているが、さらに連携していく必要がある。 |
| | ㉓ | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている | | | | |
| | ㉔ | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている | | | | |
| | ㉕ | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | 4 | | 保護者の要望に応じて、園に訪問し情報共有している。 | |
| | ㉖ | 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | 1 | 2 | | 保護者の要望に沿いながら、さらに実施していく必要がある。 |
| | ㉗ | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | 4 | | | 療育センターの研修動画を見るなど、必要に応じ行っている。 |
| | ㉘ | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある | 1 | 3 | | 園と連携しイベントを設けるなど、機会があれば実施したいと考えている。 |

| | | | | | | |
|--|---|--|---|---|-------------------------------|--------------------|
| | ㉙ | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している | 1 | 3 | | 機会があれば参加したいと考えている。 |
| | ㉚ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | 4 | | 療育終了後にフィードバックの時間を設け、情報共有している。 | |

| | | | | | | |
|------------|----|--|---|---|--|--|
| 保護者への説明責任等 | ③① | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている | 4 | | 定期的にペアレント・トレーニングを実施している。 | |
| | ③② | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | 4 | | 説明を行っている。 | |
| | ③③ | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている | 4 | | 説明し、同意を得ている。 | |
| | ③④ | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | 4 | | 毎回、療育後のフィードバックでお話しを伺っている。また、ご要望に応じて個別での相談も行っている。 | |
| | ③⑤ | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | 3 | 1 | 定期的にペアトレを行い、保護者同士のかかわり、連携を支援している。 | 父母の会や保護者会などは開催していないが、保護者交流も兼ねてペアトレを行っていく。また需要に合わせて保護者会等の開催も検討する。 |
| | ③⑥ | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している | 4 | | 常に迅速、適切に対応している。 | |
| | ③⑦ | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | 4 | | お手紙や LINE 等で情報発信している。 | |
| | ③⑧ | 個人情報の取扱いに十分注意している | 4 | | 個人情報に関するものは鍵付きロッカーで管理している。 | |
| | ③⑨ | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | 4 | | 分かりやすい情報提供を心掛けている。 | |
| | ④⑩ | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | | 4 | | 地域との交流も図るため、体験会などのイベントの開催も検討する。 |

| | | | | | | |
|---------|----|--|---|--|---|------------------------------|
| 非常時等の対応 | ④① | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している | 4 | | | 保護者にも確認していただけるよう、定期的に周知していく。 |
| | ④② | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | 4 | | 年に2回行っている。 | |
| | ④③ | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している | 4 | | 職員全員が把握できるよう、アレルギーや配慮事項などを表にしている。 | |
| | ④④ | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | 4 | | 事業所内で食べ物を食べることが無いため、医師の指示書の確認はしていないが、何のアレルギーかは把握している。 | |
| | ④⑤ | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | 4 | | 毎月共有している。 | |
| | ④⑥ | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 4 | | 定期的に研修を受けている。 | |
| | ④⑦ | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している | 4 | | 今のところ該当する児童はいないが、身体拘束について説明し、同意を得ている。 | |

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。